

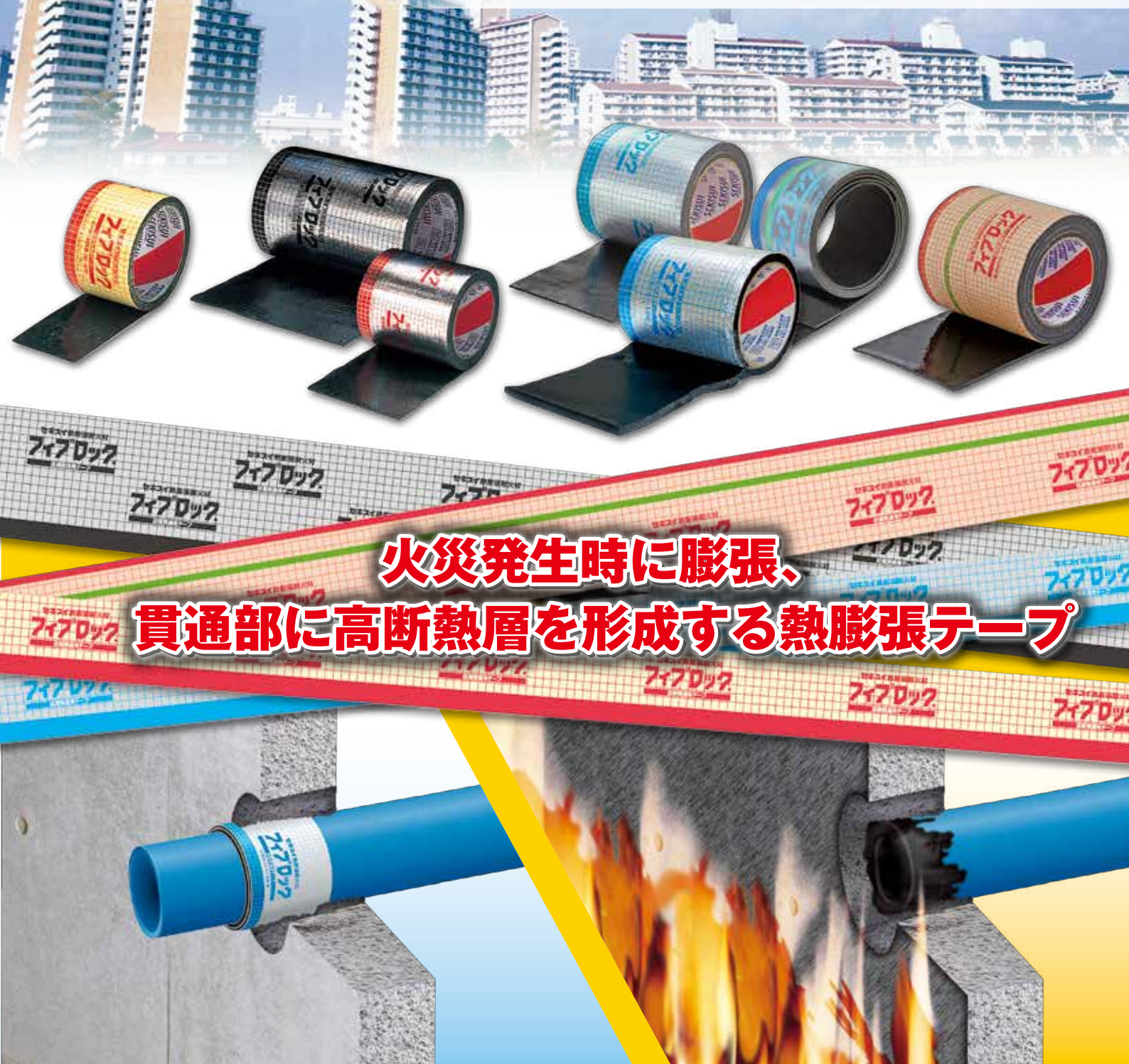
熱膨張耐火材

区画貫通用テープ

ファイブロック®

国土交通大臣認定品

(一財)日本消防設備安全センター評価品



**火災発生時に膨張、
貫通部に高断熱層を形成する熱膨張テープ**

フィブロック区画貫通用テープは管に巻き付けるだけの簡単な作業でスピーディに施工できる製品です。

施工例



耐火性能を発揮するメカニズム



特長

- 管に巻くだけで防火区画処理ができます。
- 用途に合わせて各種配管・各サイズに対応します。
- 国土交通大臣認定および(一財)日本消防設備安全センター評価を取得しています。

ラインナップ

品名	用途	品番	厚さ	幅	巻長さ	入数	積算価格
フィブロックさや管用	壁・床共用	TBBZ001	0.66mm	60mm	2.0m	12巻/ケース	19,800円/巻
フィブロック塩ビ管用	壁用	TBCZ002	2.25mm	110mm	1.5m	6巻/ケース	11,000円/巻
	床用	TBCZ001	2.25mm	160mm	1.5m	6巻/ケース	16,500円/巻
フィブロック保温材付 スーパーエスロメタックス用	壁・床共用	FIB-FC	4.24mm	120mm	1.3m	6巻/ケース	11,500円/巻
フィブロック エスロハイパーAW用	壁・床共用	FIBAW	2.25mm	110mm	1.5m	6巻/ケース	10,000円/巻
		FIBAW1H	6.09mm	110mm	0.42m	6巻/ケース	18,000円/巻
		FIBAW2H	2.50mm	90mm	1.0m	10セット/ケース	19,500円/巻
		FIBCH2H	2.50mm	90mm	1.0m	10セット/ケース	19,500円/巻

(積算価格には消費税は含まれておりません。)

ファイブロック さや管用

壁・床共通で使用できます。

さや管の場合

呼び径	φ22	φ25	φ28	φ30	φ36
箇所数	20箇所	18箇所	17箇所	16箇所	14箇所

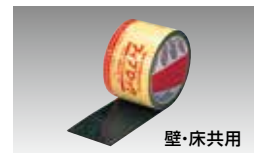
※1箇所あたりの積算価格例：φ28の場合1,165円/箇所

エスロベックスCV管の場合

呼び径	φ10	φ13	φ16	φ20
箇所数	32箇所	26箇所	22箇所	18箇所

※1箇所あたりの積算価格例：φ16の場合900円/箇所

施工の詳細につきましてはP3 施工手順、
適用配管種につきましてはP5 認定・評定一覧をご参照ください。



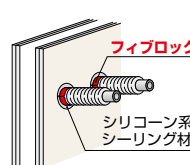
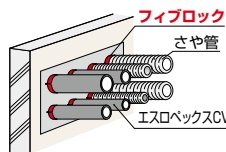
壁・床共用

【施工例】

●ALC・コンクリートの場合

●中空壁の場合

●片面強化せつこう
ボード重張壁の場合



※国土交通大臣認定のみ

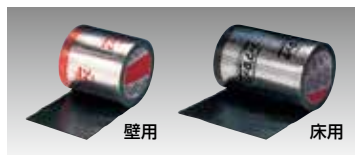
ファイブロック 塩ビ管用

壁用・床用、用途に合わせて使用できます。

呼び径	φ50	φ75	φ100	φ125
箇所数	7箇所	5箇所	4箇所	3箇所

※1箇所あたりの積算価格例：床φ100の場合4,125円/箇所
壁φ75の場合2,300円/箇所

施工の詳細につきましてはP7 施工手順、
適用配管種につきましてはP8 認定・評定一覧をご参照ください。



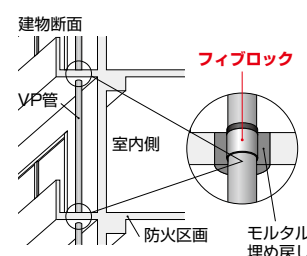
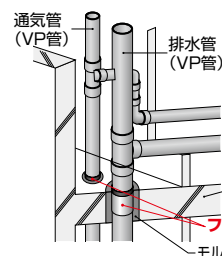
壁用

床用

【施工例】

●排水管・通気管の場合

●雨樋やスロップ、シンクの排水管の場合



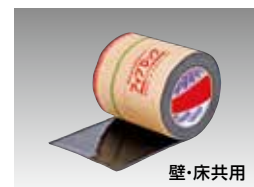
ファイブロック 保温材付スーパーエスロメタックス用

壁・床共通で使用できます。

呼び径	φ10	φ13	φ16	φ20	φ25	φ32	φ40	φ50
箇所数	11	10	9	8	7	6	6	5
保温材付10mm	—	—	6	6	5	5	4	4
保温材付20mm	—	—	—	5	4	4	4	3
保温材付30mm	—	—	—	—	—	—	—	—

※1箇所あたりの積算価格例：壁φ10(保温厚10mm)の場合1,150円/箇所
φ20(保温厚20mm)の場合2,300円/箇所

施工の詳細につきましてはP9 施工手順、
適用配管種につきましてはP11 認定・評定一覧をご参照ください。

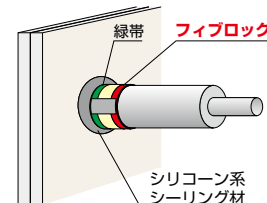
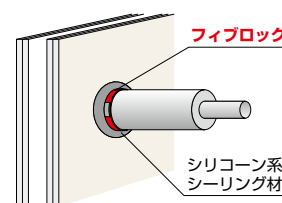


壁・床共用

【施工例】

●中空壁の場合

●片面強化せつこう
ボード重張壁の場合



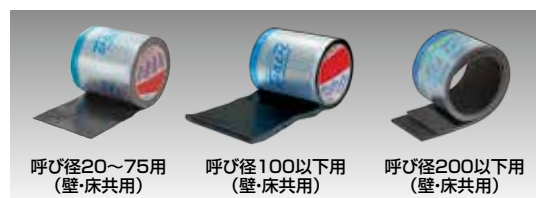
ファイブロック エスロハイパーAW用

壁・床共通で使用できます。

呼び径	φ20	φ25	φ30	φ40	φ50	φ75	φ100	φ150	φ200
箇所数	17箇所	12箇所	10箇所	9箇所	7箇所	5箇所	1箇所	1箇所	1箇所

※1箇所あたりの積算価格例：床・壁φ50の場合1,430円/箇所
※ファイブロック エスロハイパーAW用は、呼び径に対応したものをご使用ください。

施工の詳細につきましてはP12 施工手順、
適用配管種につきましてはP14 認定・評定一覧をご参照ください。

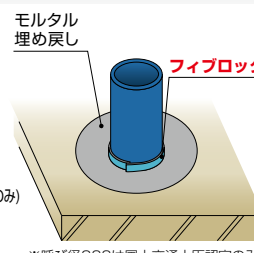
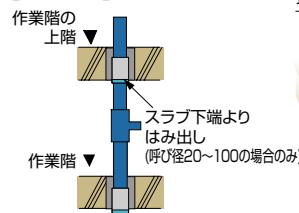


呼び径20～75用
(壁・床共用)

呼び径100以下用
(壁・床共用)

呼び径200以下用
(壁・床共用)

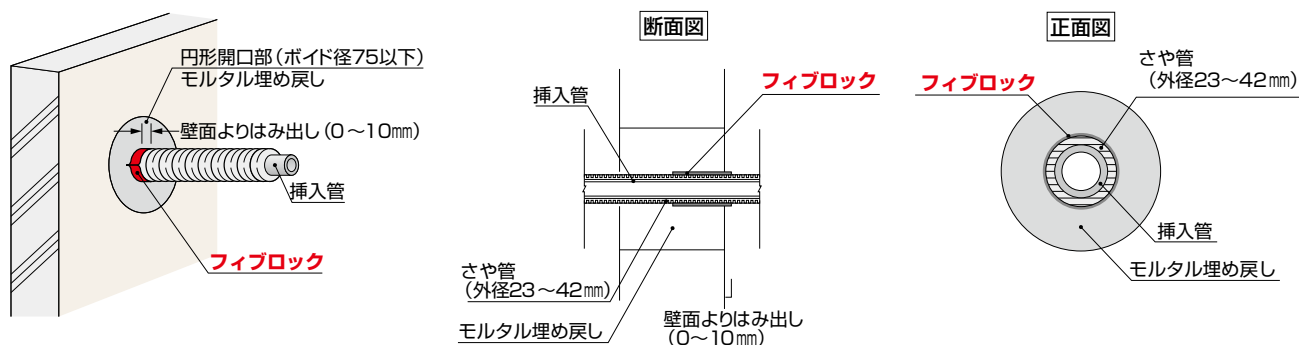
【施工例】



※呼び径200は国土交通大臣認定のみ

フィブロック® さや管用 [施 工]

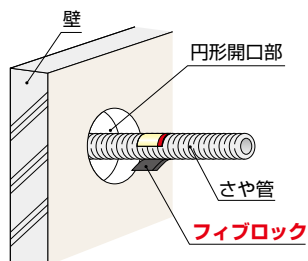
標準施工図



ALC・コンクリート施工手順 (円形壁開口部の例)

1 準備

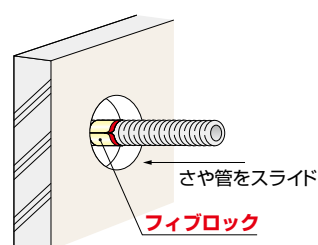
さや管が貫通する位置に開口部を設置します。
(ボイド径75以下)



2 施工

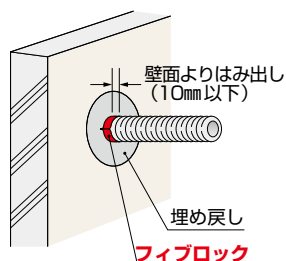
パイプの区画貫通する部分をフィブロックで一周巻いてください。

※設置が確認できるように壁面からフィブロックを0~10mm出して施工してください。



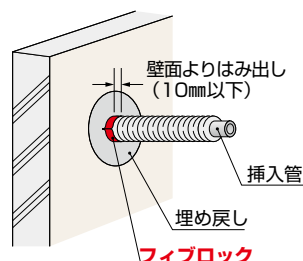
3 開口部の埋め戻し

パイプを所定の位置にスライドさせ開口部をモルタルで埋め戻します。



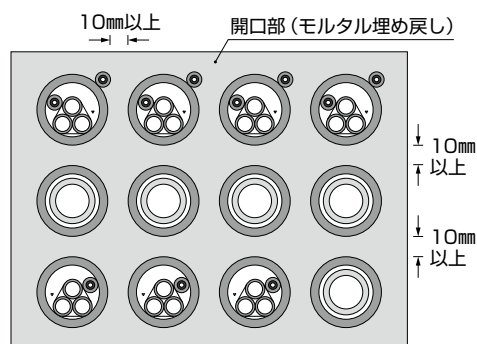
4 挿入

挿入管をさや管に挿入します。



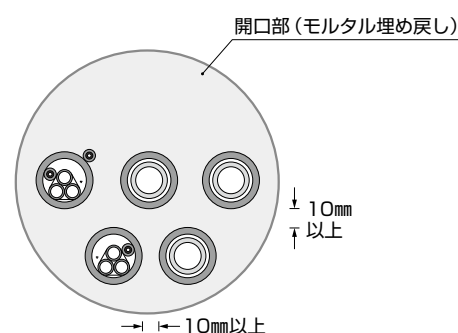
ALC・コンクリート施工完成図 (複数本施工の例)

角穴工法



※管と管の間隔を10mm以上あけて配管してください。
※最大8本×3段まで配管可能です。
※貫通する管の詳細は認定書、評価書をご確認ください。

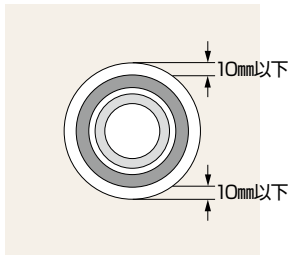
丸穴工法



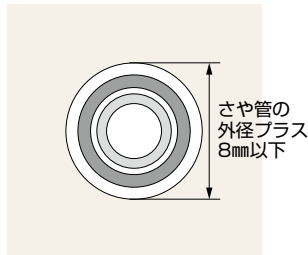
※管と管の間隔を10mm以上あけて配管してください。
※最大7本まで配管が可能です。
※貫通する管の詳細は認定書、評価書をご確認ください。

中空壁施工図

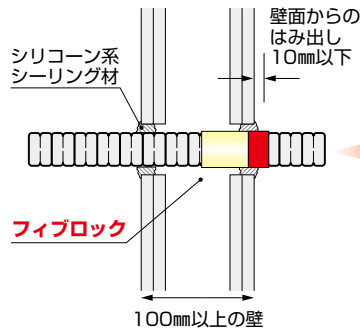
一般の防火区画 (令8・共住区画以外)



共住区画

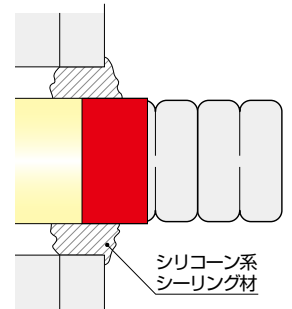


- ※シーリング材は、シリコン系シーリング材をご使用ください。
(JIS A 5758)
- 推奨品：セキスイシリコンシーラント セキスイシリコンJX
- ※埋め戻しはモルタルではありませんのでご注意ください。
- ※開口径は配管サイズに応じて上記の寸法をお守りください。



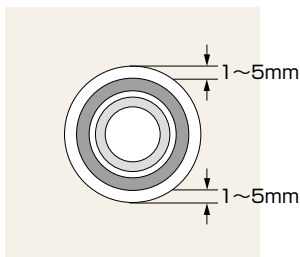
- ※フィブロックは壁のどちら側にはみだしてもかまいません。

シーリング材充填量の目安

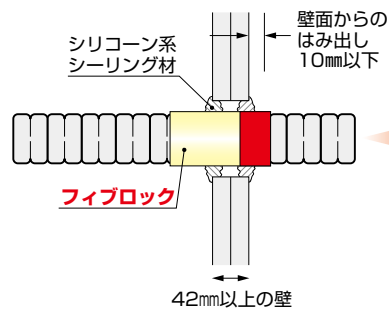


片面強化せっこうボード重張壁施工図 ※国土交通大臣認定のみ

一般の防火区画 (令8・共住区画以外)

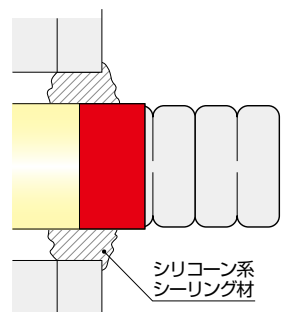


- ※対応耐火構造壁の詳細は、認定書をご確認ください。
- ※シーリング材は、シリコン系シーリング材をご使用ください。
(JIS A 5758)
- 推奨品：セキスイシリコンシーラント セキスイシリコンJX
- ※埋め戻しはモルタルではありませんのでご注意ください。
- ※開口径は配管サイズに応じて左記の寸法をお守りください。



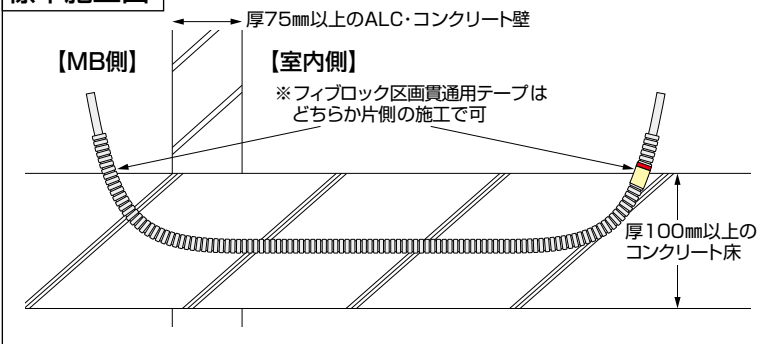
- ※フィブロックは壁のどちら側にはみだしてもかまいません。

シーリング材充填量の目安

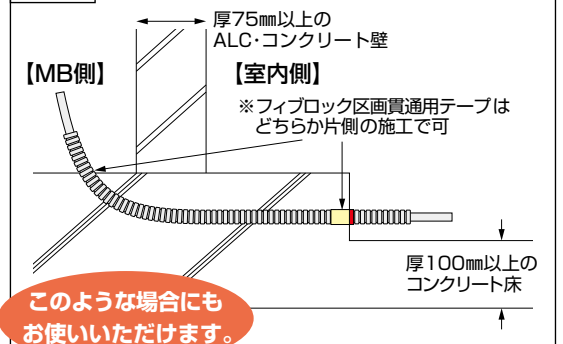


スラブ埋設(サブウェイ)工法

標準施工図



施工例



このような場合にも
お使いいただけます。

ファイブロック® さや管用 [認定・評価一覧]

壁

●用途／給水管、給湯管、排水管、冷温水管、さや管、ケーブル、ガス さや管の使用最大呼び径は36Aです。

壁／丸 穴、矩 形

ALC・コンクリート(厚75mm以上)

貫通配管種		使用最大配管	貫通開口寸法	国土交通大臣 認定番号	(一財)日本消防設備安全センター 性能評価番号 共住区画
さや管 挿入管	架橋ポリエチレン管(JIS K 6769, 6787) (エスロベックス)	20A (3本以下)	矩形: 横350mm以下 × 縦200mm以下 円形: φ200mm以下	PS060WL-0623	KK 24-016号
	ポリブテン管(JIS K 6778, 6792) (エスロPB)	20A			
	軟質塩化ビニルライニング ステンレス鋼フレキシブル管	φ32.3mm			

壁／丸 穴

ALC・コンクリート(厚75mm以上)

貫通配管種			使用最大配管	ボイド径 (開口寸法)	国土交通大臣 認定番号	(一財)日本消防設備安全センター 性能評定番号
						共住区画
さや管 挿入管		被覆付き架橋ポリエチレン管 (エスロベックスCV)	20A	75以下 (φ80mm以下)	PS060WL-0587	KK 24-005号
		金属強化ポリエチレン管(スーパーエスロメタックス)	25A			
		軟質塩化ビニルライニング ステンレス鋼フレキシブル管	φ32.3mm	φ60mm以下	PS060WL-0622	KK 24-015号
直管		架橋ポリエチレン管(JIS K 6769, 6787) (エスロベックス)	20A (2本以下)	75以下 (φ80mm以下)	PS060WL-0066	KK 19-133号
		被覆付き架橋ポリエチレン管(エスロベックスCV)				
		ポリブテン管(JIS K 6778, 6792) (エスロPB)				
		金属強化ポリエチレン管(スーパーエスロメタックス)	20A		PS060WL-0065	
		保温付架橋ポリエチレン管(保温厚10mm以下)	PS060WL-0192			
		保温付ポリブテン管(保温厚10mm以下)	PS060WL-0207			

★印のケーブルは0.3mm²×3芯以下1本となります。

コンクリート(厚100mm以上)

貫通配管種			使用最大配管 呼び径等	ボイド径 (開口寸法)	国土交通大臣 認定番号	(一財)日本消防設備安全センター 性能評定番号		
						共住区画	令8区画	
さや管 挿入管		架橋ポリエチレン管(JIS K 6769,6787)	25A	75以下 (φ80mm以下)	PS060WL-0065	KK 19-133号	RK 19-035号	
		ポリブテン管(JIS K 6778,6792)						
		ケーブル(JIS C 3342,3605)			CV600V 38mm ² ×4C	PS060WL-0003	KK 19-134号	
直管		架橋ポリエチレン管(JIS K 6769,6787)	20A		PS060WL-0065	KK 19-133号	RK 19-035号	
		被覆付架橋ポリエチレン管(エスロベックスCV)						
		金属強化ポリエチレン管(スーパーエスロメタックス)						
		ポリブテン管(JIS K 6778,6792)						30A
		ケーブル(JIS C 3342,3605)						CV600V 38mm ² ×4C

中空壁／丸 穴

中空壁(厚100mm以上)

貫通配管種			使用最大配管 呼び径	貫通開口寸法	国土交通大臣 認定番号	(一財)日本消防設備安全センター 性能評定番号
						共住区画
さや管	挿入管	架橋ポリエチレン管2本(+ケーブル★)	13A(2本)	φ50mm以下	PS060WL-0101	KK19-102号
		架橋ポリエチレン管(JIS K 6769,6787)	25A			
		ポリブテン管(JIS K 6778,6792)				
直管	架橋ポリエチレン管(JIS K 6769,6787)	20A	φ40mm以下			
	被覆付架橋ポリエチレン管(エスロベックスCV)					
	金属強化ポリエチレン管(スーパーエスロメタックス)					
	硬質ポリ塩化ビニル管(VP管)(JIS K 6741,6742)	30A	φ50mm以下			
	ポリブテン管(JIS K 6778,6792)					

★印のケーブルは0.3mm²×3芯以下1本となります。

※KK19-102号共住区画では、JIS A6901 GB-Fに規定する強化せっこうボードを使用します。

床

●用途／給水管、給湯管、排水管、冷温水管、さや管、ケーブル さや管の使用最大呼び径は36Aです。

ALC・コンクリート(厚100mm以上)

貫通配管種			使用最大配管 呼び径	ボイド径 (開口寸法)	国土交通大臣 認定番号	(一財)日本消防設備安全センター 性能評定番号
						共住区画
さや管	挿入管	架橋ポリエチレン管(JIS K 6769,6787)	25A	75以下 (φ80mm以下)	PS060FL-0073	KK 19-099号
		被覆付架橋ポリエチレン管(エスロベックスCV)	20A		PS060FL-0586	KK 24-004号
		金属強化ポリエチレン管(スーパーエスロメタックス)	25A			
直管		被覆付架橋ポリエチレン管(エスロベックスCV)	20A	PS060FL-0073	KK 19-099号	
		保温付ポリブテン管(保温材厚10mm以下)		PS060FL-0206	KK 19-106号	

コンクリート(厚150mm以上)

貫通配管種		使用最大配管 呼び径等	ボイド径 (開口寸法)	国土交通大臣 認定番号	(一財)日本消防設備安全センター 性能評定番号
					共住区画 令8区画
さや管	挿入管	架橋ポリエチレン管(JIS K 6769, 6787)	75以下 (ϕ 80mm以下)	PS060FL-0005	RK 19-036号
		ポリブテン管(JIS K 6778, 6792)			
		ケーブル(JIS C 3342, 3605)			
直管		金属強化ポリエチレン管(スーパーエスロメタックス)	75以下 (ϕ 80mm以下)	PS060FL-0106	KK 19-135号
		架橋ポリエチレン管(JIS K 6769, 6787)			
		被覆付架橋ポリエチレン管(エスロベックスCV)			
		ポリブテン管(JIS K 6778, 6792)			
		ケーブル(JIS C 3342, 3605)			

スラブ埋設[サブウェイ]工法

●用途／給水管、給湯管、排水管、冷温水管、さや管、ケーブル、ガス さや管の使用最大呼び径は36Aです。

ALC・コンクリート壁(厚75mm以上)、コンクリート床(厚100mm以上)

貫通配管種		使用最大配管 呼び径	最大貫通 開口寸法 (さや管外径)	(一財)日本消防設備安全センター 性能評定番号	
				共住区画	
さや管	挿入管	架橋ポリエチレン管2本(+ケーブル★)	13A(2本)	42mm以下	KK 19-101号
		架橋ポリエチレン管3本(+ケーブル★)	13A(3本)		
		架橋ポリエチレン管(JIS K 6769,6787)(+ケーブル★)	20A		
		ポリブテン管(JIS K 6778,6792)(+ケーブル★)			
		金属強化ポリエチレン管(スーパーエスロメタックス)(+ケーブル★)			
		軟質塩化ビニルライニングステンレス鋼フレキシブル管 (表面材:軟質ポリ塩化ビニルコンパウンド JIS K 6723) (内 管:冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯 JIS K 4305)	25A	47mm以下	KK 24-017号

★印のケーブルは0.3mm²×3芯以下1本となります。

壁

●用途／給水管、給湯管、排水管、冷温水管、さや管、ケーブル さや管の使用最大呼び径は36Aです。

片面強化せっこうボード重張 壁／丸 穴

片面強化石こうボード壁(厚42mm以上)

貫通配管種		使用最大配管 呼び径	貫通開口寸法	国土交通大臣 認定番号
さや管	挿入管	架橋ポリエチレン管2本(+ケーブル★)	ϕ 52mm以下	PS060WL-0470
		架橋ポリエチレン管(JIS K 6769, 6787)		
		ポリブテン管(JIS K 6778, 6792)		
直管		被覆材付架橋ポリエチレン管(エスロベックスCV)		
		ポリブテン管(JIS K 6778, 6792)		
		架橋ポリエチレン管(JIS K 6769, 6787)		

★印のケーブルは0.75mm²以下1本となります。

※対応耐火構造壁の詳細は、認定書をご確認ください。

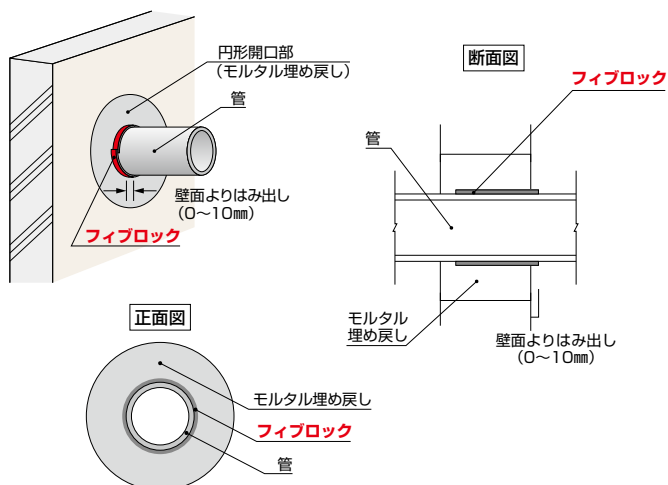
⚠ 使用上の注意事項

- ・赤の帯が必ず見えるように施工してください。
- ・壁面及びスラブ面より0以上10mm以下出すようにしてください。
- ・帯の幅は10mmではないので、帯を全部出さないようにしてください。
- ・区画貫通部以外の配管露出部に使用しても効力を発揮しません。
- ・床貫通部と壁貫通部が近傍にある場合は、両貫通部の評定条件を満たす必要があるため、ご注意ください。
- ・テープ幅は規定の寸法となっていますので、幅を変えて使用しないでください。
- ・防火区画貫通について不明な点は、所轄の消防機関に確認してください。
- ・フィブロックの使用条件の詳細については各認定書・評定書をご確認ください。

フィブロック® 塩ビ管用〔施 工〕

壁・床

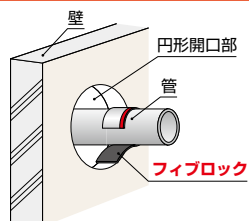
標準施工図



施工手順(円形壁開口部の例)

1 準備

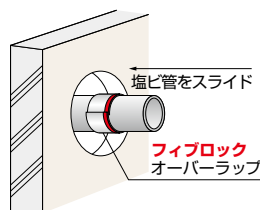
パイプが貫通する位置に開口部を設置します。



2 施工

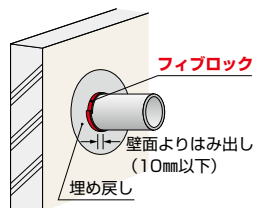
パイプの区画貫通する部分をフィブロックで一周巻いてください。

※設置が確認できるように壁面からフィブロックを0～10mm出して施工してください。



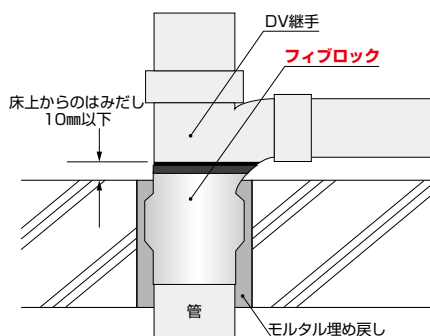
3 開口部の埋め戻し

パイプを所定の位置にスライドさせ開口部をモルタルで埋め戻します。



施工完成図

床貫通の場合(VP管+DV継手)

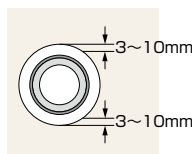


壁

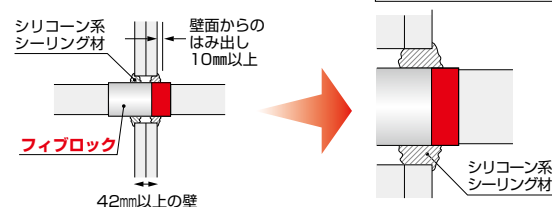
片面強化せっこうボード重張(ACドレンのみ) ※国土交通大臣認定のみ

一般の防火区画 (令8・共住区画以外)

※対応耐火構造壁の詳細は、認定書をご確認ください。
※シーリング材は、シリコン系シーリング材をご使用ください。
(JIS A 5758)
推奨品: セキスイシリコンシーラント セキスイシリコンJX
※埋め戻しはモルタルではありませんのでご注意ください。
※開口径は配管サイズに応じて左記の寸法をお守りください。



シーリング材充填量の目安

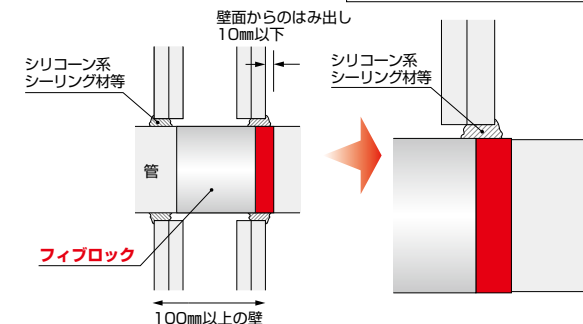


※フィブロックは壁のどちら側にもみだしてもかまいません。

中空壁工法

◎シーリング材等での施工方法

シーリング材等充填量の目安

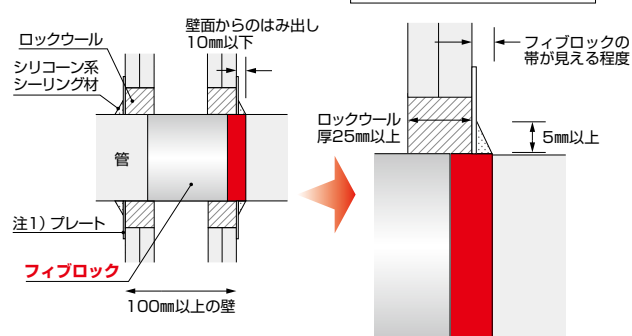


※シーリング材等のみで施工する場合は開口径が塩ビ管とのすき間を10mm以下としてください。それ以上の場合にはロックウールと併用してください。

※貫通する管種により埋め戻しに使用する材料が異なります。
詳細はP.8の「認定・評定一覧」及び「認定書・評定書」をご参照ください。

◎シーリング材とロックウール併用の施工方法

シーリング材充填量の目安



※フィブロックは壁のどちら側にもみだしてもかまいません。
※硬質塩ビ管に悪影響を及ぼす可塑剤や有機溶剤を含むポリウレタン系シーリング材は使用しないでください。
※シーリング材は、シリコン系シーリング材をご使用ください。(JIS A 5758)
推奨品: セキスイシリコンシーラント セキスイシリコンJX
※埋め戻しはモルタルではありませんのでご注意ください。

注1) 推奨プレート

塩化ビニル系樹脂(フィブロック用塩ビ化粧プレート)

フィブロック用塩ビ化粧プレートが必要な場合は、下記メーカーへお問い合わせください。

社 名	品 名	納入ロット	お問い合わせ先
株式会社アカギ	フィブロック用 塩ビ化粧プレート	10枚以上	03-3552-7121

納品には1週間程度かかる場合がありますので早目にお問い合わせください。

[認定・評価一覧]

壁

●用途／給水管、給湯管、排水管、冷温水管、空調用ドレン排水管、高温排水管

壁／丸 穴

ALC・コンクリート(厚75mm以上)

貫通配管種	使用最大配管呼び径	貫通開口寸法 ボイド径	国土交通大臣 認定番号	(一財)日本消防設備安全センター性能評価番号 共住区画
硬質ポリ塩化ビニル管(VP管)(JIS K 6741、6742)	100A	150(φ158mm)以下	PS060WL-0063	KK 19-117号
リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管(RFVP管)(JIS K 9798)			PS060WL-0064	
耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管(HT管)(JIS K 6776)	50A	φ210mm以下	PS060WL-0512	KK 22-018号
空調ドレン用結露防止層付硬質塩化ビニル管(ACドレン管)			PS060WL-0220	

※耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管(HT管)の呼び径65以上はメーカー規格品の寸法です

コンクリート(厚100mm以上)

貫通配管種	使用最大配管 呼び径	貫通開口寸法 ボイド径	国土交通大臣 認定番号	(一財)日本消防設備安全センター性能評定番号	
				共住区画	令8区画
硬質ポリ塩化ビニル管(VP管)(JIS K 6741、6742)	150A	200(φ210mm)以下	PS060WL-0069	KK 19-119号	RK 19-023号
リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管(RFVP管)(JIS K 9798)	100A	150(φ158mm)以下	PS060WL-0063	KK 19-117号	
空調ドレン用結露防止層付硬質塩化ビニル管(ACドレン管)			PS060WL-0064		
金属強化ポリエチレン管(スーパーエスロメタックス)	50A	100(φ107mm)以下	PS060WL-0220	KK 19-111号	
			PS060WL-0068	KK 19-119号	

中空壁／丸 穴

中空壁(厚100mm以上)

貫通配管種	使用最大配管呼び径	貫通開口寸法	国土交通大臣認定番号	貫通部埋め戻し方法
硬質ポリ塩化ビニル管(VP管)(JIS K 6741、6742)	100A	φ125mm以下	PS060WL-0102	シーリング材※
		φ170mm以下	PS060WL-0103	ロックウール+プレート+シーリング材※
空調ドレン用結露防止層付硬質塩化ビニル管(ACドレン管)	50A	φ90mm以下	PS060WL-0220	シーリング材※、せっこう系パテ・接着剤

※推奨商品:積水フラー社製シリコン材または変成シリコン系シーリング材

片面強化せっこうボード重張 壁／丸 穴

片面強化せっこうボード壁(厚42mm以上)

貫通配管種	使用最大配管呼び径	貫通開口寸法	国土交通大臣認定番号	貫通部埋め戻し方法
空調ドレン用結露防止層付硬質塩化ビニル管(ACドレン管)	50A	φ96mm以下	PS060WL-0671	シーリング材※

※推奨商品:積水フラー社製シリコン材または変成シリコン系シーリング材

床

●用途／給水管、給湯管、排水管、冷温水管、空調用ドレン排水管、高温排水管

床／丸 穴

ALC・コンクリート(厚100mm以上)

貫通配管種	使用最大配管呼び径	貫通開口寸法 ボイド径	国土交通大臣 認定番号	(一財)日本消防設備安全センター性能評価番号 共住区画
硬質ポリ塩化ビニル管(VP管)(JIS K 6741、6742)	125A	175(φ182mm)以下	PS060FL-0070	KK 19-116号
リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管(RFVP管)(JIS K 9798)	100A	150(φ158mm)以下	PS060FL-0072	
硬質ポリ塩化ビニル管継手(JIS K 6739)+VP管	125A	175(φ182mm)以下	PS060FL-0329	
硬質ポリ塩化ビニル管継手(JIS K 6739)+RFVP管			PS060FL-0071	
硬質ポリ塩化ビニル管(VP管)+保温材(保温厚10mm以下)	50A	φ150mm以下	PS060FL-0484	—
耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管(HT管)(JIS K 6776)	100A	φ210mm以下	PS060FL-0349	KK 19-151号
空調ドレン用結露防止層付硬質塩化ビニル管(ACドレン管)	50A	φ150mm以下	PS060FL-0468	—

※1: 耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管(HT管)の呼び径65以上はメーカー規格品の寸法です

※2: 耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管(HT管)は、高温排水の立て管としてご使用ください。

コンクリート(厚150mm以上)

貫通配管種	使用最大配管呼び径	貫通開口寸法 ボイド径	国土交通大臣 認定番号	(一財)日本消防設備安全センター性能評価番号 共住区画	令8区画
硬質ポリ塩化ビニル管(VP管)(JIS K 6741、6742)	125A	175(φ182mm)以下	PS060FL-0070	KK 19-116号	RK 19-037号
リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管(RFVP管)(JIS K 9798)※1			PS060FL-0013	KK 19-114号	
硬質ポリ塩化ビニル管継手(JIS K 6739)+VP管	125A	175(φ182mm)以下	PS060FL-0072	KK 19-116号	RK 19-037号
硬質ポリ塩化ビニル管継手(JIS K 6739)+RFVP管			PS060FL-0071		
空調ドレン用結露防止層付硬質塩化ビニル管(ACドレン管)	50A	100(φ107mm)以下	PS060FL-0015	KK 19-114号	
金属強化ポリエチレン管(スーパーエスロメタックス)※2	50A		PS060FL-0107	KK 19-121号	RK 19-037号
	40A				

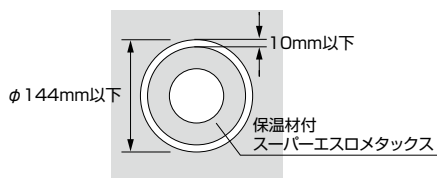
※1、2: 令8区画を貫通する場合の最大の呼び径は、RFVP管が100A、スーパーエスロメタックスが40Aとなります。

フィブロック® 保温材付スーパーエスロメタックス用 [施 工]

標準施工図:壁 保温厚30mm以下(中空壁の場合)

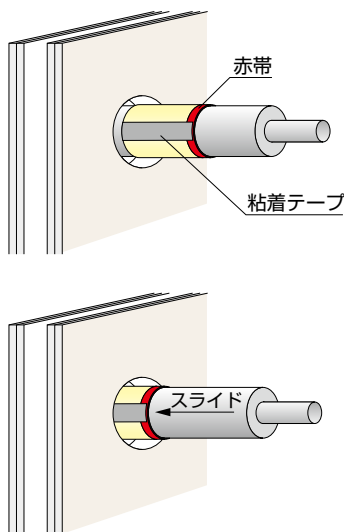
1 準備

- 保温材付スーパーエスロメタックスが貫通する場所に開口部(φ144mm以下)を設けます。



2 施工

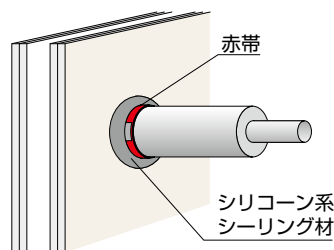
- 保温材付スーパーエスロメタックスの上から一周巻きつけるのに可能な長さにテープをカットします。
- 赤帯部分が施工後確認できるように、フィブロックを管に巻きつけ、粘着テープで固定します。(フィブロックは突き付け・オーバーラップのどちらでも可能です)
- 赤帯が壁面から0~10mm以下のはみ出し量となるように、フィブロックをスライドさせてください。



3 開口部の埋め戻し

- 管と開口部の両側の隙間をシリコン系シーリング材で充填します。

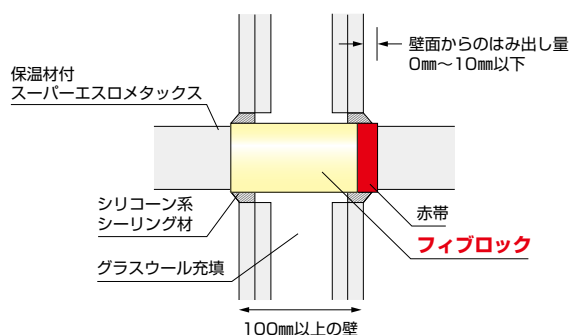
推奨品:
セキスイシリコンシーラント
セキスイシリコンJX



※フィブロックの赤帯部分が壁から0mm~10mm以下でていることを確認してください。

⚠ (一財)日本消防設備安全センターの評定を取得しておりませんので、共住区画の貫通部には使用できません。

施工完成図

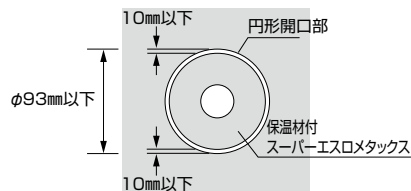


※壁厚110mm以上に使用する場合の施工方法につきましては、弊社担当までご連絡ください。

標準施工図:壁 保温厚20mm以下(中空壁の場合)

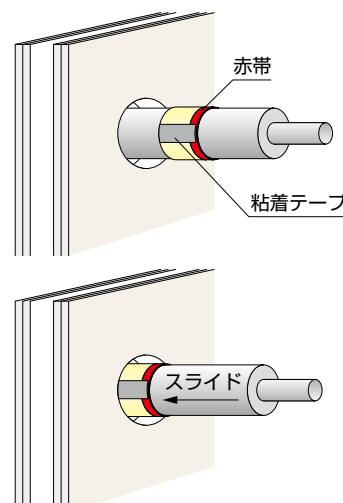
1 準備

- 保温材付スーパーエスロメタックスが貫通する場所に開口部(φ93mm以下)を設けます。



2 施工

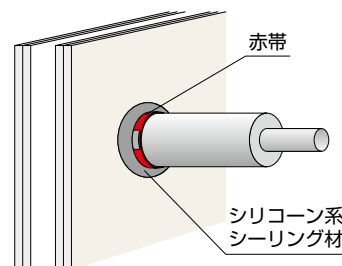
- 保温材付スーパーエスロメタックスの上から一周巻きつけるのに可能な長さにテープをカットします。
- 赤帯部分が施工後確認できるように、フィブロックを管に巻きつけ、粘着テープで固定します。(フィブロックは突き付け・オーバーラップのどちらでも可能です)
- 赤帯が壁面から20mm以下のはみ出し量となるように、フィブロックをスライドさせてください。



3 開口部の埋め戻し

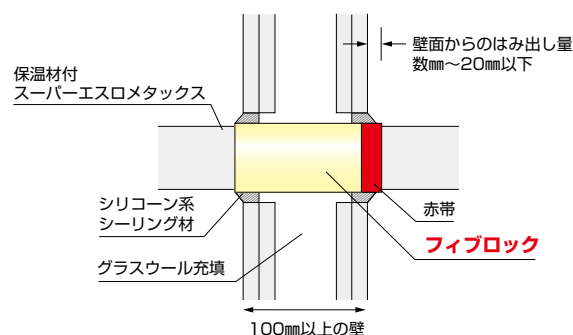
- 管と開口部の両側の隙間をシリコン系シーリング材で充填します。

推奨品:
セキスイシリコンシーラント
セキスイシリコンJX



※フィブロックの赤帯部分が壁から数mm~20mm以下でていることを確認してください。

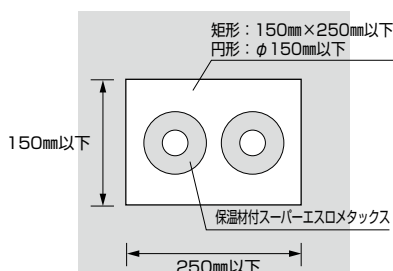
施工完成図



標準施工図:壁 保温厚20mm以下(ALC・コンクリートの場合)

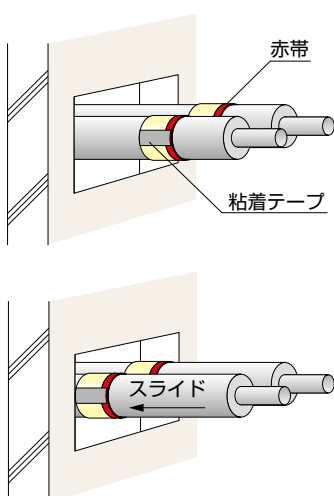
1 準備

- 保温材付スーパーエスロメタックスが貫通する場所に開口部(矩形:150mm×250mm以下、円形:φ150mm以下)を設けます。



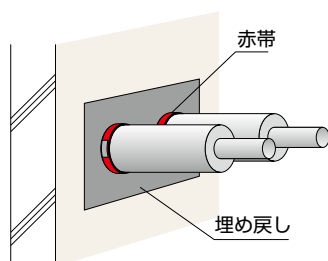
2 施工

- 保温材付スーパーエスロメタックスの上から一周巻きつけるのに可能な長さにテープをカットします。
- 赤帯部分が施工後確認できるように、フィブロックを管に巻きつけ、粘着テープで固定します。(フィブロックは突き付け・オーバーラップのどちらでも可能です)
- 赤帯が壁面から20mm以下のはみ出し量となるように、フィブロックをスライドさせてください。



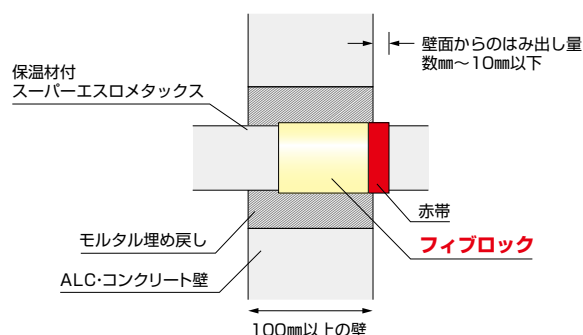
3 開口部の埋め戻し

- 管と開口部の隙間をモルタルで充填します。



※フィブロックの赤帯部分が壁から数mm～10mm以下でいることを確認してください。

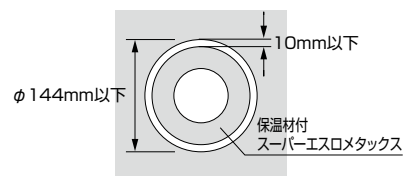
施工完成図



標準施工図:壁 保温厚30mm以下(片面強化石膏ボード重張壁の場合)

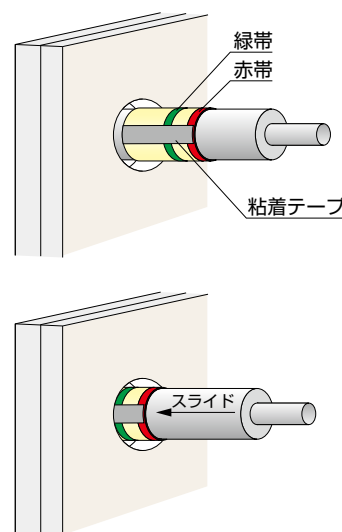
1 準備

- 保温材付スーパーエスロメタックスが貫通する場所に開口部(φ144mm以下)を設けます。



2 施工

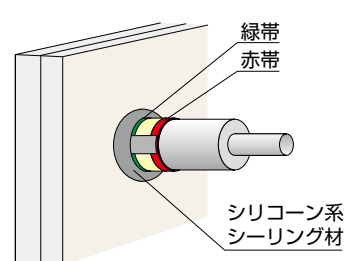
- 保温材付スーパーエスロメタックスの上から一周巻きつけるのに可能な長さにテープをカットします。
- 緑帯部分が施工後確認できるように、フィブロックを管に巻きつけ、粘着テープで固定します。(フィブロックは突き付け・オーバーラップのどちらでも可能です)
- 緑帯が壁面から35～40mm以下のはみ出し量となるように、フィブロックをスライドさせてください。



3 開口部の埋め戻し

- 壁の両側の開口部をシリコン系シーリング材で充填します。

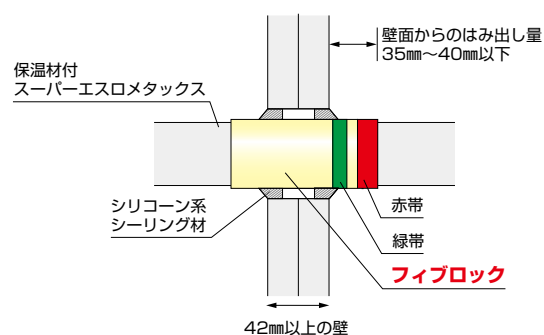
推奨品:
セキスイシリコンシーラント
セキスイシリコンJX



※フィブロックの緑帯部分が壁から35mm～40mm以下でいることを確認してください。

⚠ (一財)日本消防設備安全センターの評定を取得しておりませんので、
共住区画の貫通部には使用できません。

施工完成図

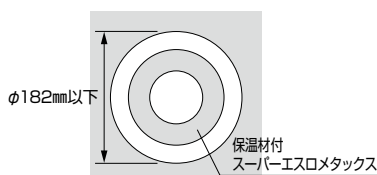


フィブロック® 保温材付スーパーエスロメタックス用 [施 工]

標準施工図:床 保温厚30mm以下(ALC・コンクリート)

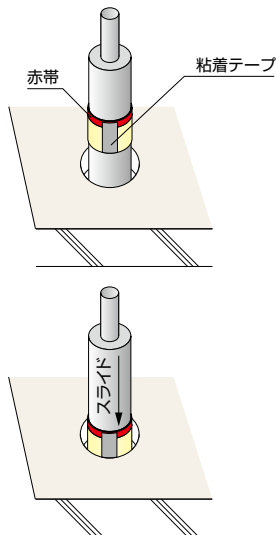
1 準備

- 保温材付スーパーエスロメタックスが貫通する場所に開口部(φ182mm以下)を設けます。



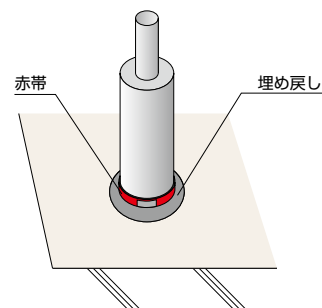
2 施工

- 保温材付スーパーエスロメタックスの上から一周巻きつけるのに可能な長さにテープをカットします。
- 赤帯部分が施工後確認できるように、フィブロックを管に巻きつけ、粘着テープで固定します。(フィブロックは突き付け・オーバーラップのどちらでも可能です)
- 赤帯が床から0~10mm以下のはみ出し量となるように、フィブロックをスライドさせてください。



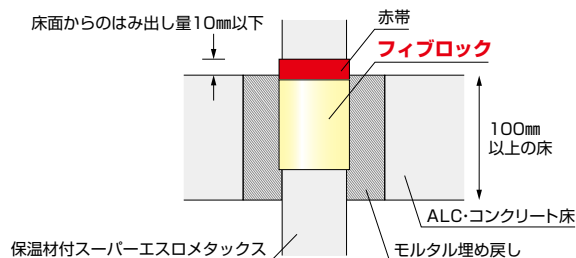
3 開口部の埋め戻し

- 管と開口部の隙間をモルタルで充填します。



※フィブロックの赤帯部分が床から0~10mm以下でていることを確認してください。

施工完成図



[認定・評価一覧]

壁

ALC・コンクリート(厚100mm以上)

貫通配管種	使用最大配管呼び径	貫通開口寸法 ボイド径	国土交通大臣 認定番号	(一財)日本消防設備安全センター性能評定番号
				共住区画
被覆金属強化ポリエチレン管 (スーパーエスロメタックスFC・EC)	保温厚30mm以下	50A	φ208mm以下	PS060WL-0715
	保温厚20mm以下	25A	縦150mm×横250mm以下 φ150mm以下	PS060WL-0373
				KK19-148号

中空壁(厚100mm以上)

貫通配管種	使用最大配管呼び径	貫通開口寸法 ボイド径	国土交通大臣 認定番号	(一財)日本消防設備安全センター性能評定番号
				共住区画
被覆金属強化ポリエチレン管 (スーパーエスロメタックスFC・EC)	保温厚30mm以下	50A	φ144mm以下	PS060WL-0719
	保温厚20mm以下	25A	φ93mm以下	PS060WL-0409
				KK20-008号

※保温厚30mm以下について：壁厚110mm以上に使用する場合の施工方法につきましては、弊社担当までご連絡ください。

片面強化石膏ボード重張壁(厚42mm以上)

貫通配管種	使用最大配管呼び径	貫通開口寸法ボイド径	国土交通大臣認定番号
被覆金属強化ポリエチレン管 (スーパーエスロメタックスFC・EC)	保温厚30mm以下	50A	φ144mm以下
			PS060WL-0698

床

ALC・コンクリート(厚100mm以上)

貫通配管種	使用最大配管呼び径	貫通開口寸法ボイド径	国土交通大臣認定番号
被覆金属強化ポリエチレン管 (スーパーエスロメタックスFC・EC)	保温厚30mm以下	50A	φ182mm以下
			PS060FL-0714

ファイブロック® エスロハイパー AW用 [施 工]

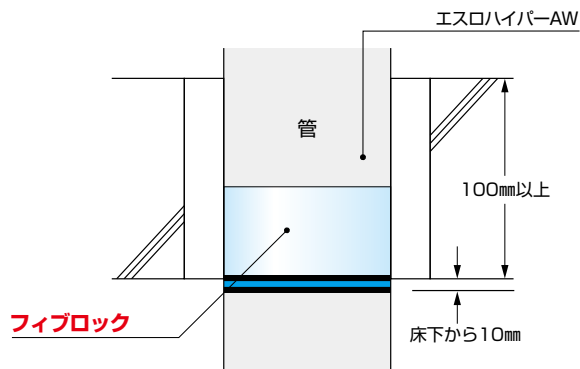
標準施工方法（床貫通の場合）

ファイブロックが床下側にはみ出す場合

対象品種：呼び径20～75用、呼び径100以下用

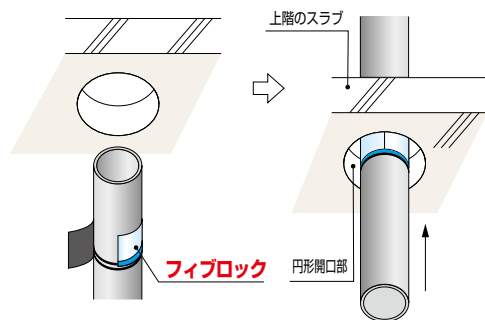
1 準備

- 現場にて採寸し、配管後に管の床下面と床下面から10mmに位置する部分の2カ所に印をつけます。
(この位置にテープを巻き付けます。)



2 施工

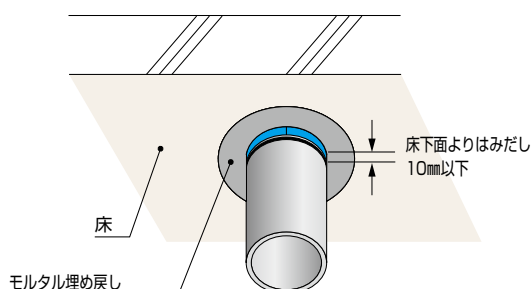
- 管の外周長プラス10mm程度の長さでテープをカットします。
- 青帯部分が施工後確認できるように印部分にテープを巻き付けます。



※テープの端が2本線の間にくるように巻き付けてください。

3 開口部の埋め戻し

- 開口部をモルタルで埋め戻します。



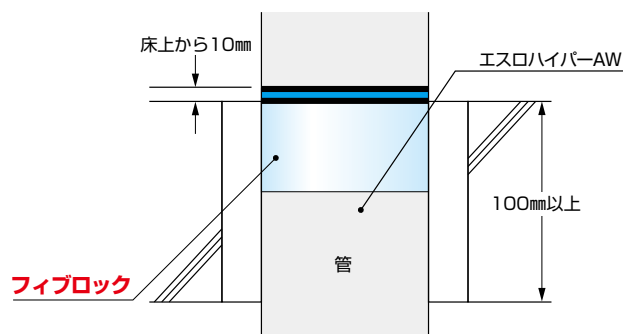
※ファイブロックが床下面から数mm～10mm以下でていることを確認してください。

ファイブロックが床上側にはみ出す場合

対象品種：呼び径20～75用、呼び径100以下用、呼び径200以下用
※呼び径200以下用は床上側はみ出しのみ使用可能

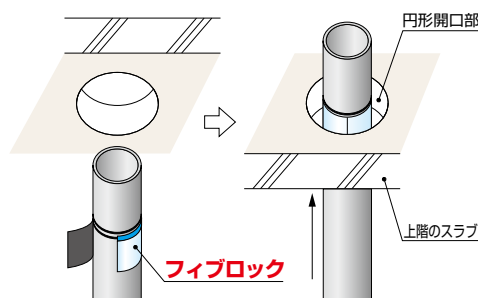
1 準備

- 現場にて採寸し、配管後に管の床上面と床上面から10mmに位置する部分の2カ所に印をつけます。
(この位置にテープを巻き付けます。)



2 施工

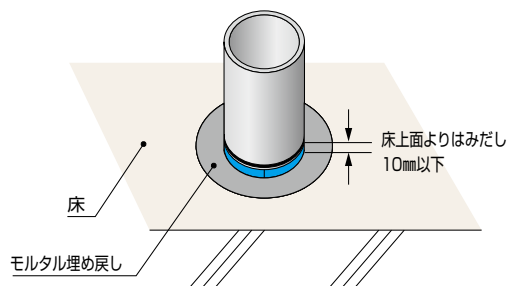
- 呼び径20～75用、呼び径100以下用で施工の場合
 - 管の外周長プラス10mm程度の長さでテープをカットします。
 - 青帯部分が施工後確認できるように印部分にテープを巻き付けます。
- 呼び径200以下用で施工の場合
 - 管の上から2周以上巻き付けるのに可能な長さでテープをカットします。
 - 青帯部分が施工後確認できるように2周以上巻き付け、印部分で粘着テープで固定します。



※テープの端が2本線の間にくるように巻き付けてください。

3 開口部の埋め戻し

- 開口部をモルタルで埋め戻します。



※ファイブロックが床上面から数mm～10mm以下でていることを確認してください。

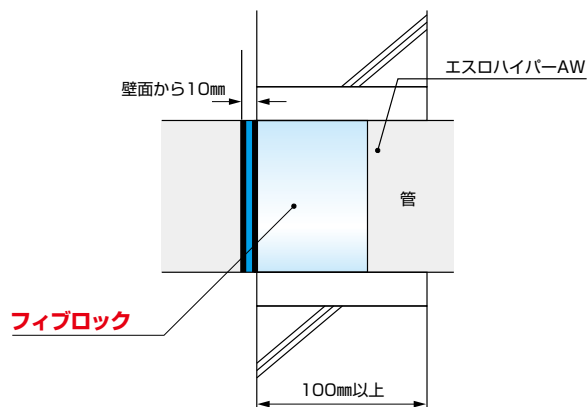
ファイブロック® エスロハイパー AW用 [施 工]

標準施工方法(ALC・コンクリート壁の場合)

対象品種：呼び径20～75用、呼び径100以下用

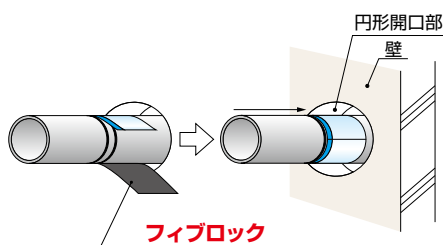
1 準備

- 現場にて採寸し、配管後に管の壁面と壁面から10mmに位置する部分の2カ所に印をつけます。
(この位置にテープを巻き付けます。)



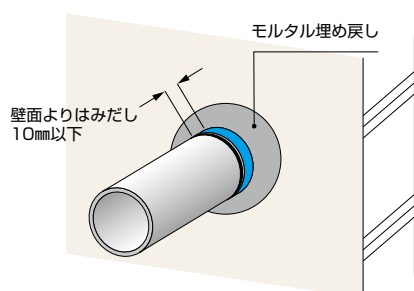
2 施工

- 管の外周長プラス10mm程度の長さでテープをカットします。
- 青帯部分が施工後確認できるように印部分にテープを巻き付けます。
※テープの端が2本線の間にくるように巻き付けてください。
※ファイブロックは壁のどちら側にはみだしてもかまいません。



3 開口部の埋め戻し

- 開口部をモルタルで埋め戻します。



※ファイブロックが壁面から数mm～10mm以下でていることを確認してください。

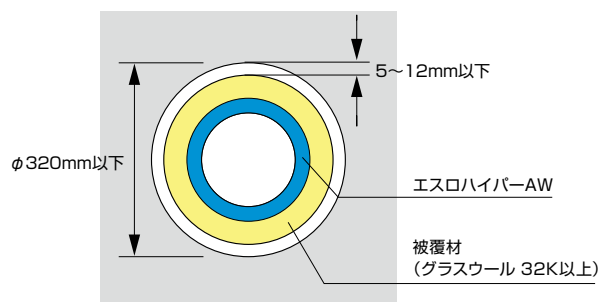
標準施工方法(中空壁の場合)

NEW

対象品種：呼び径200以下用

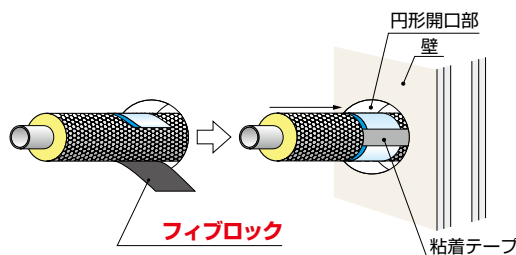
1 準備

- エスロハイパーAWおよび被覆材が貫通する場所に開口部(φ320mm以下)を設けます。



2 施工

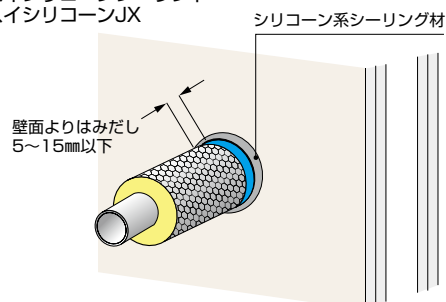
- 管外面に被覆材(グラスウール 32K以上)を巻き付けます。その上からアルミニウムはく張クラフト紙を、更にもうその上から亀甲金網を巻きグラスウールを固定します。
- 管の被覆材の上から1周巻き付けるのに可能な長さにファイブロックをカットします。
- 青帯部分が施工後確認できるようにファイブロックを巻き付け、粘着テープで固定します。
- 青帯が壁面から5mm～15mm以下のはみ出し量となるようにファイブロックを設置します。



3 開口部の埋め戻し

- 壁の両側の開口部をシリコン系シーリング材で充填します。

推奨品：
セキスイシリコンシーラント
セキスイシリコンJX



※ファイブロックが壁面から5mm～15mm以下でていることを確認してください。

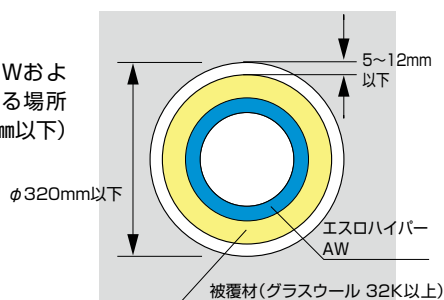
標準施工方法(片面強化石膏ボード重張壁の場合)

NEW

対象品種：呼び径200以下用

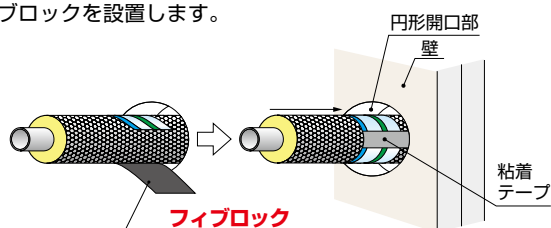
1 準備

- エスロハイパーAWおよび被覆材が貫通する場所に開口部(φ320mm以下)を設けます。



2 施工

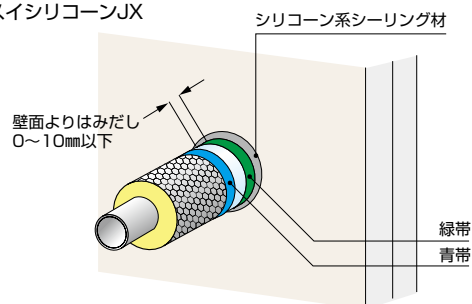
- 管外面に被覆材(グラスウール 32K以上)を巻き付けます。その上からアルミニウムはく張クラフト紙を、更にその上から亀甲金網を巻きグラスウールを固定します。
- 管の被覆材の上から1周巻き付けるのに可能な長さにフィブロックをカットします。
- 緑帯部分が施工後確認できるようにフィブロックを巻き付け、粘着テープで固定します。
- 緑帯が壁面から0mm~10mm以下のはみ出し量となるようにフィブロックを設置します。



3 開口部の埋め戻し

- 壁の両側の開口部をシリコン系シーリング材で充填します。

推奨品：
セキスイシリコンシーラント
セキスイシリコンJX



※フィブロックの緑帯部分が壁面から0mm~10mm以下でていることを確認してください。

[認定・評価一覧]

壁

ALC・コンクリート(厚100mm以上)

貫通配管種		貫通開口寸法 ボイド径	国土交通大臣 認定番号	(一財)日本消防設備安全センター 性能評価番号 共住区画
給水用高密度ポリエチレン管(エスロハイパー AW)	呼び径20~75用	125(φ133mm)以下	PS060WL-0194	KK 19-105号
	呼び径100以下用	175(φ182mm)以下	PS060WL-0476	KK 21-011号

中空壁(厚100mm以上)

貫通配管種	貫通開口寸法 ボイド径	国土交通大臣認定番号
給水用高密度ポリエチレン管(エスロハイパー AW) 呼び径200以下用	φ320mm以下	PS060WL-0817

※管外面には被覆材(グラスウール 32K以上、厚さ40mm以下)を使用。

片面強化石膏ボード重張壁(厚42mm以上)

貫通配管種	貫通開口寸法 ボイド径	国土交通大臣認定番号
給水用高密度ポリエチレン管(エスロハイパー AW) 呼び径200以下用	φ320mm以下	PS060WL-0816

※管外面には被覆材(グラスウール 32K以上、厚さ40mm以下)を使用。

床

ALC・コンクリート(厚100mm以上)

貫通配管種		貫通開口寸法 ボイド径	国土交通大臣 認定番号	(一財)日本消防設備安全センター 性能評価番号 共住区画
給水用高密度ポリエチレン管(エスロハイパー AW)	呼び径20~75用	125(φ133mm)以下	PS060FL-0195	KK 19-104号
	呼び径100以下用	175(φ182mm)以下	PS060FL-0475	KK 21-010号
	呼び径200以下用	300(φ311mm)以下	PS060FL-0720	

※コンクリートの場合、呼び径20~75用は国土交通大臣認定のみ厚70mm以上で使用可能。

※呼び径200以下用は床上側のみ使用可能。

フィブロック
エスロハイパーAW用

NEW 呼び径200以下の
乾式壁貫通認定取得

中空壁 片壁 に

使用できるようになりました!



⚠ 注意事項

- ・フィブロックの帯は壁面及びスラブ面より規定の長さ以下出すようにしてください。
- ・帯の幅は10mmではないので、帯を全部出さないようにしてください。
- ・壁用、床用の条件があるものは、用途に合わせてご使用ください。
- ・区画を貫通する排水用鑄鉄継手に当製品を巻いても、接続されるパイプをVP管にすることはできません。
- ・区画貫通部以外の配管露出部に使用しても効力を発揮しません。
- ・管、継手に悪影響を及ぼす可塑材や有機溶剤を含むポリウレタン系シーリング材は使用しないでください。

- ・床貫通部と壁貫通部が近傍にある場合は、両貫通部の評価条件を満たす必要があるため、ご注意ください。
- ・塩ビ管を使用する場合、熱伸縮により管、継手が破損する恐れがあります。カタログ、技術資料をご確認いただき適切な伸縮処理を行ってください。
- ・テープ幅は規定の寸法となっていますので、幅を変えて使用しないでください。
- ・防火区画貫通について不明な点は、所轄の消防機関へご確認ください。
- ・フィブロックの使用条件の詳細については各認定書・評定書をご確認ください。

積水化学工業株式会社 環境・ライフラインカンパニー

東 北 支 店

設備システム営業所 022(217)0608
北 東 北 事 業 所 019(624)6000

東日本支店 建築営業部

東京設備システム営業所 03(5521)0641
関東設備システム営業所 048(646)0160
横 浜 営 業 所 045(474)1810
静 岡 営 業 所 054(275)0720
甲 信 営 業 所 0263(38)1220
東 関 東 営 業 所 04(7130)0010

中 部 支 店

設備システム営業所 052(957)5303

西 日 本 支 店

近畿設備システム営業所 06(6365)4503
中国設備システム営業所 082(224)6251
北 陸 営 業 所 076(231)4245
京 滋 営 業 所 075(662)3418
四 国 営 業 所 0897(57)9125

九 州 支 店

設備システム営業所 092(271)1314

積水化学北海道(株)

営 業 本 部 011(737)6330

エスロンタイムズ on the Web

<http://www.eslontimes.com>



お客様相談室 【東京】03(5521)0505 【大阪】06(6365)4133

●お問い合わせは上記各営業所へ

*記載価格はメーカー希望標準設計価格です。
*価格には消費税は含まれておりません。
*記載価格は2016年2月現在のものです。
*印刷のため製品の色調は実物とは異なる場合があります。
*記載事項は予告なく変更する場合があります。

不許転載

2002年 6 月 初 版
2016年 4 月 改訂15版-2刷

熱膨張耐火材フィブロック
カタログ

積水化学工業株式会社
建築システム事業部

ツールコード

No. 05145

2016. 4. 5TH TX